

IV. 資料編

1

市民の緑に対する意識調査

(1) 調査概要

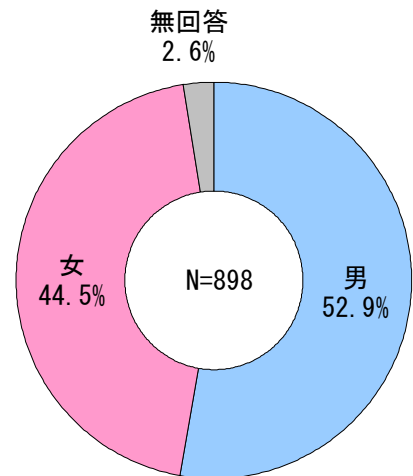
調査概要は、38 ページの通りです。

(2) アンケート結果（全回答数：898）

1) あなた自身について

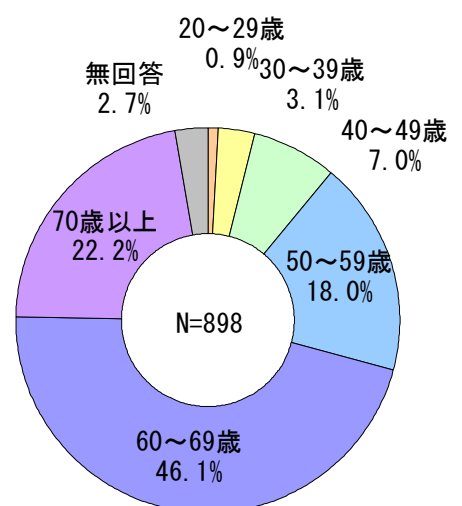
① 性別

性別については、男が 52.9%、女が 44.5%
とやや男性の回答者が多くなっています。



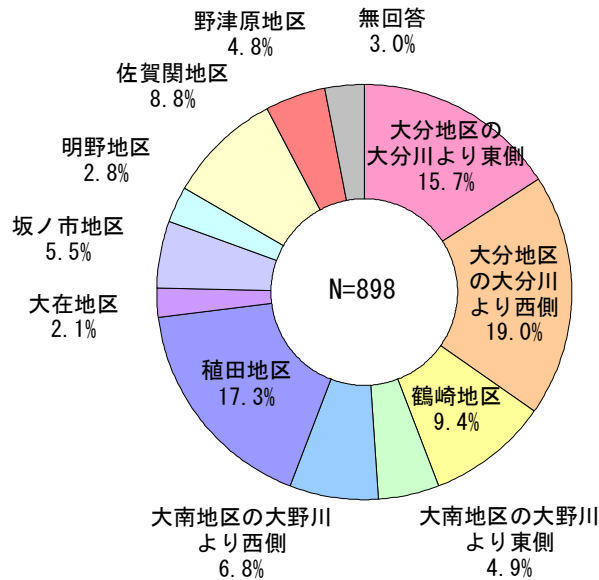
②年齢

年齢は、60～69 歳が最も多く、全体的に
みても高齢者の回答者が多くなっています。



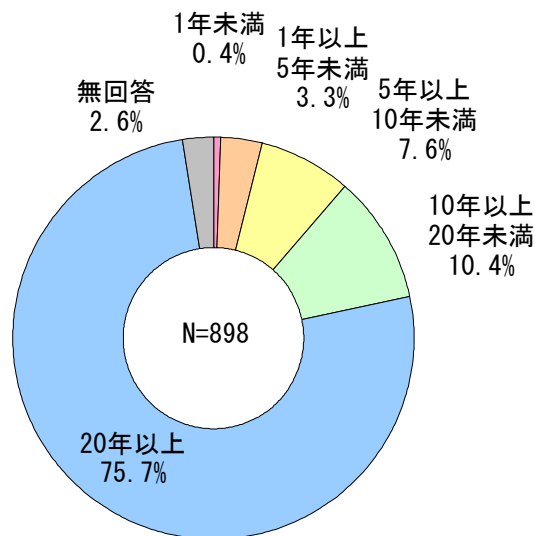
③お住まいの地区

居住地区別では大分地区、植田地区の回答者が多くなっています。



④今の場所で暮らしている期間

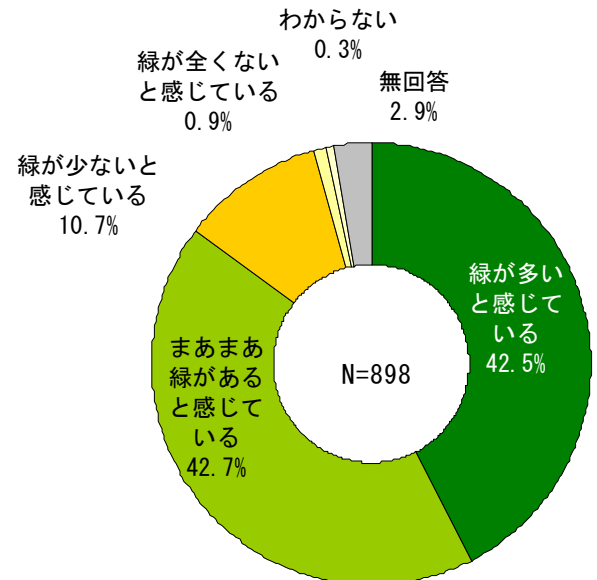
暮らしている期間では20年以上が75.7%と最も多くなっています。



2) 緑の現状について

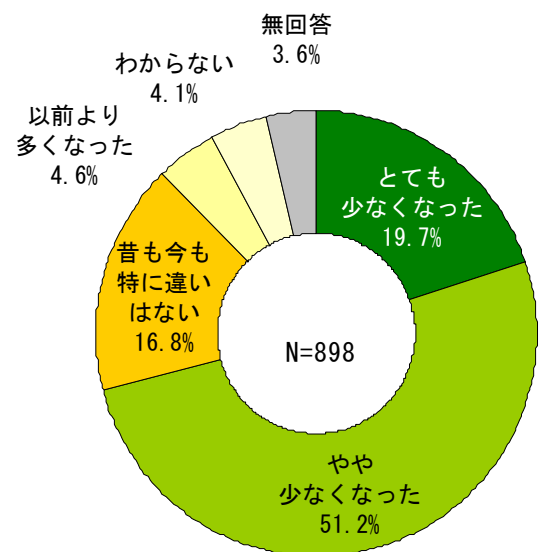
①今のお住まいの「周りの緑」についてどのように感じていますか。

周りの緑について感じていることでは、「緑が多いと感じている」が42.5%、「まあまあ緑があると感じている」が42.7%と大半を占めています。



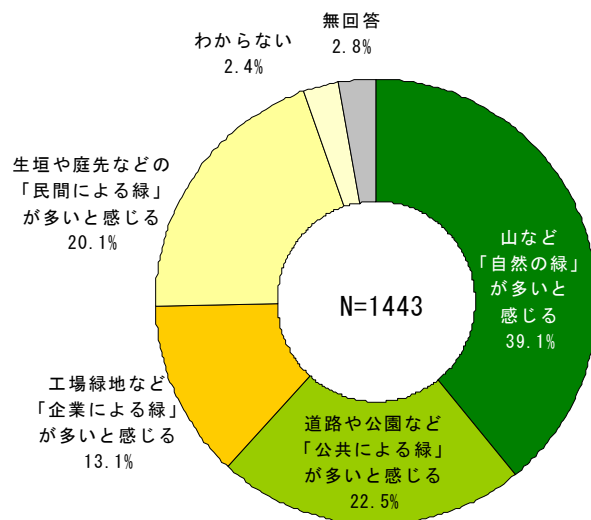
②近年の大分市の「緑の量」についてどのように感じていますか。

緑の量については「やや少なくなった」が51.2%と最も多く、「とても少なくなった」の19.7%とあわせ、緑の量が少なくなったと感じている人が多いことがわかります。



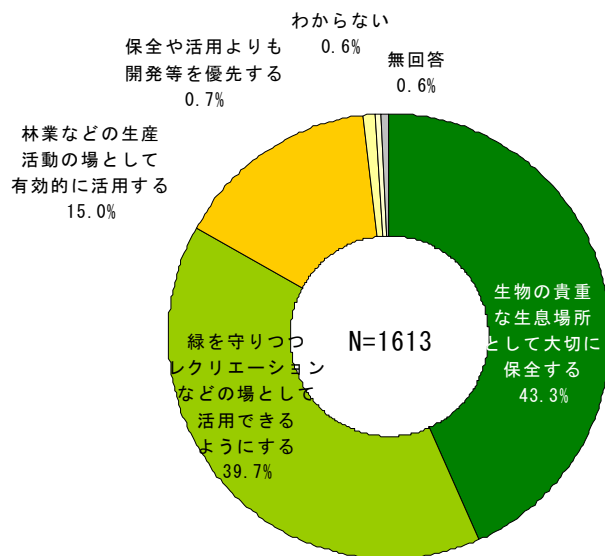
③大分市の「緑の特徴」をどのように思っていますか。(N=1,443)

緑の特徴では「山など自然の緑が多いと感じる」が39.1%と最も多くなっています。



④大分市の森林についてどのように思いますか。(N=1,613)

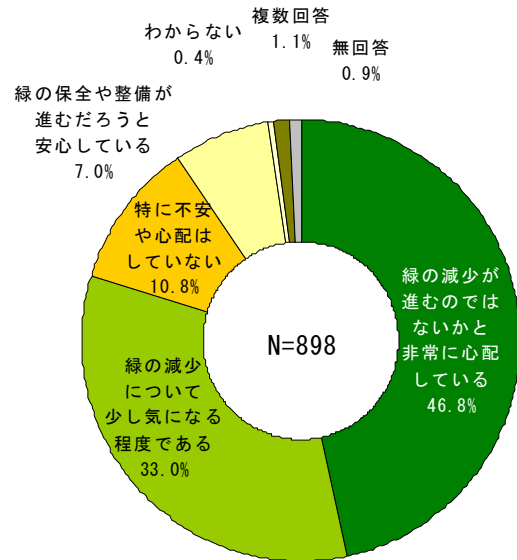
大分の森林については、「生物の貴重な生息場所として大切に保全する」が43.3%と最も多く、次いで「緑を守りつつレクリエーションなどの場として活用できるようにする」の39.7%となっています。



3) 緑の将来像

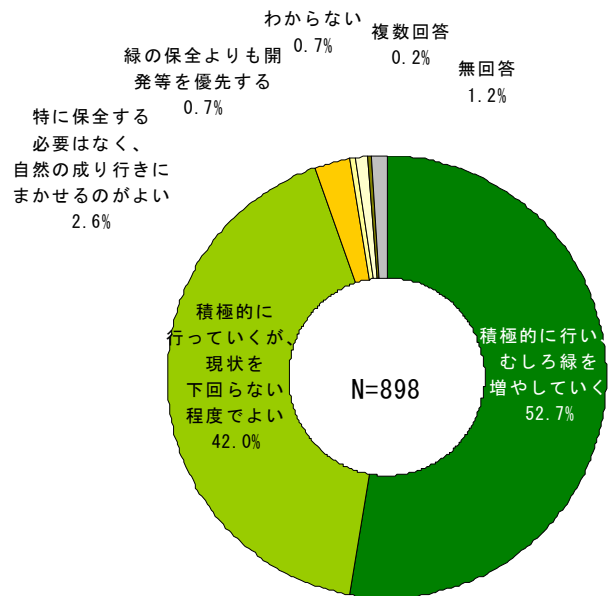
①大分市の「緑の将来」についてどのように思いますか。

緑の将来については、「緑の減少が進むのではないかと非常に心配している」として回答が46.8%と最も多くなっています。



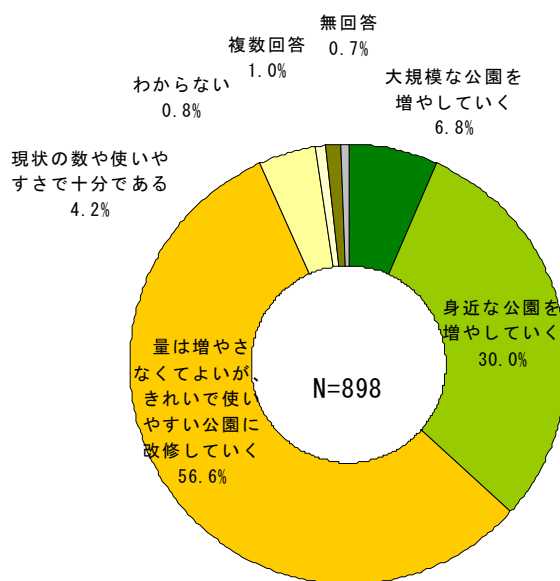
②大分市の「緑の保全」についてどのようにしていくべきだと思いますか。

緑の保全については「積極的に行い、むしろ緑を増やしていく」とした回答が52.7%と最も多くなっています。



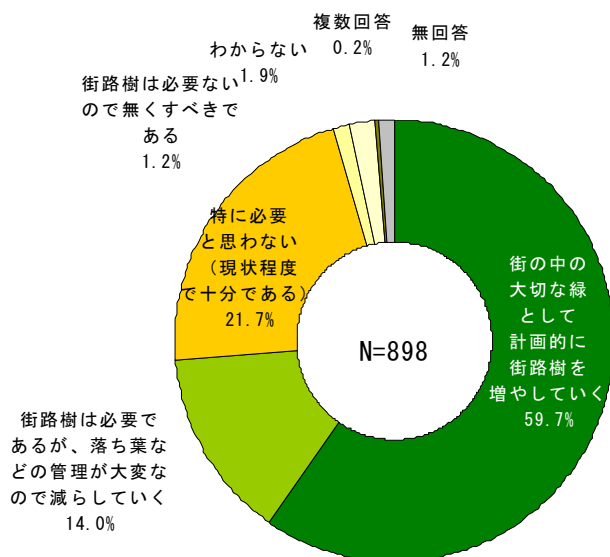
③大分市の「公園の整備」についてどのようにしていきべきだと思いますか。

公園の整備については、「量は増やさなくてよいが、きれいで使いやすい公園に改修していく」が56.6%と最も多くなっています。



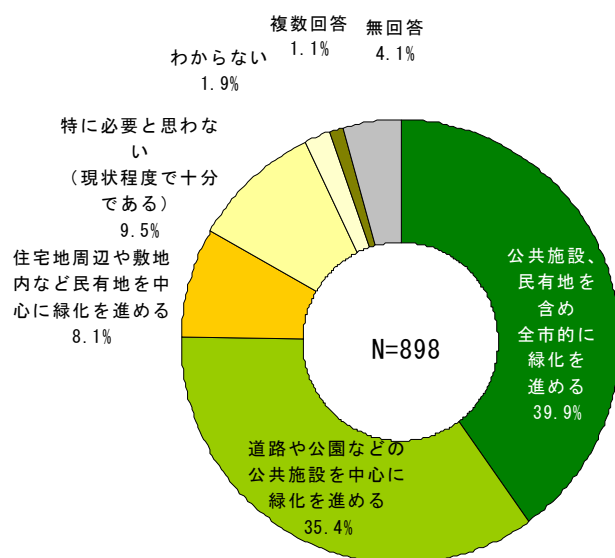
④大分市の「街路樹」についてどのようにしていきべきだと思いますか。

街路樹については、「街の中の大切な緑として計画的に街路樹を増やしていく」が59.7%と最も多くなっています。



⑤ 「市街地の緑化」についてどのようにしていくべきだと思いますか。

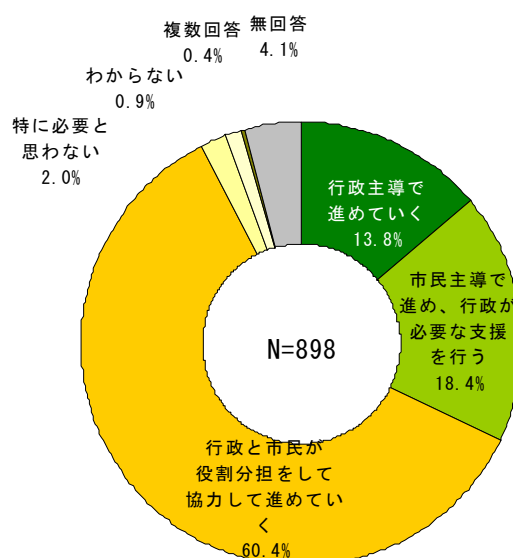
市街地の緑化については、「公共施設、民有地を含め全市的に緑化を進める」が39.9%と最も多く、次いで「道路や公園などの公共施設を中心に緑化を進める」の35.4%となっています。



4) 緑化の推進体制や緑の管理

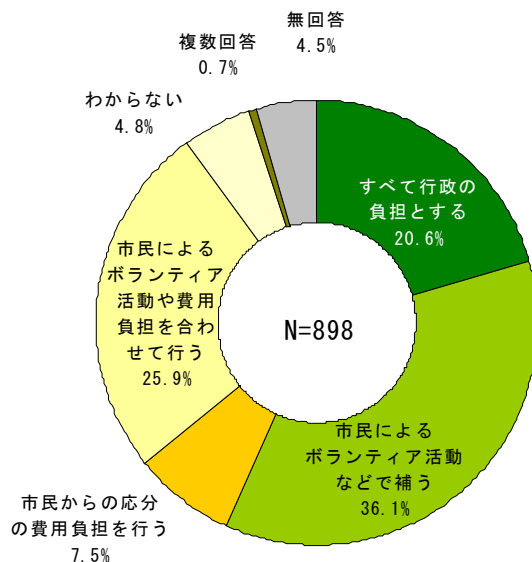
① 「緑化の推進」はどのようにして進めるのがよいと思いますか。

緑化の推進については、「行政と市民が役割分担をして協力して進めていく」が60.4%と最も多くなっています。



②緑の管理にかかる費用の増大に対してどのように対処するのがよいと思いますか

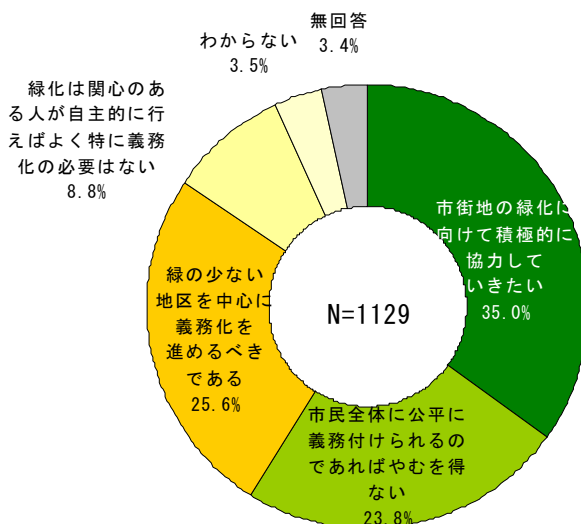
緑の管理にかかる費用については、「市民によるボランティア活動などで補う」が36.1%と最も多く、次いで「市民によるボランティア活動や費用負担を合わせて行う」の25.9%となっています。



③市街地緑化の義務化についてどのように思いますか (N=1,129)

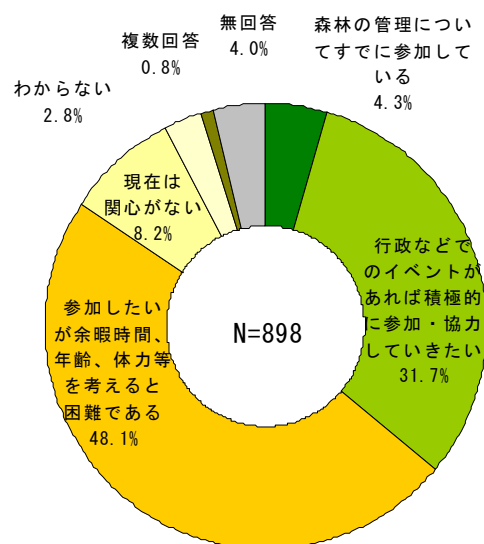
市街地緑化の義務化については「市街地の緑化に向けて積極的に協力していきたい」とした回答が35.0%と最も多くなっています。

また、「緑の少ない地区を中心に義務化を進めるべきである」が25.6%、「市民全体に公平に義務付けられるのであればやむを得ない」が23.8%となっており、大部分の人が市街地緑化の義務化について肯定的な回答を寄せています。



④里山などを管理する森林ボランティアへの参加についてどのように思いますか。

森林ボランティアについては「参加したいが余暇時間、年齢、体力等を考えると困難である」とした回答者が48.1%と最も多くなっています。



⑤緑に関する関心や活動を広げていくには、どのような取り組みを行っていくべきだと思いますか。(N=1,392)

緑に関する取り組みでは「イベントや行事を行う」とした回答者が最も多く37.7%、また、「市民グループを組織して、自主的な研究や活動を行う」とした回答も30.1%と比較的多くなっています。

